

富士市立高等学校 学校運営協議会		第23回	会議要旨 (令和2年度)
開催日	令和 2年11月 2日 月曜日	会議場	
	開 会 13時15分	富士市立高等学校 2階 会議室	
	閉 会 16時00分		
出席者			
【学校運営協議会委員】			
長田結衣 寺内誠一 畑 隆 畑 裕美 服部美幸			
蓼田 廣 村田 猛 矢寄 宏 岩田 享 大橋康二			
【オブザーバー】			
宇佐美壽英 花崎武彦 齋藤文徳 *敬称略			
開会			
○会長あいさつ			
・授業を見学して、コロナの中で生徒の皆さんが生き生きした姿を見せてくれたことが非常に印象に残った。コロナ禍で通常の授業を取り戻して教育を軌道に乗せたことは先生方のご苦労があったことと思う。			
・半年間の取り組みを報告していただき、ご出席の皆様からの忌憚なきご意見をお願いしたい。			
○副会長あいさつ			
・本年度第1回目の協議会は書面会議だったため、第2回にして初めて顔を合わせる方々もいらっしゃる。委員、オブザーバーの各立場で、意見、具申をしていただければ大変ありがたい。			
・参観をいただいたが、授業は本校のコンセプト「CDI」を意識して展開している。いずれ県立高校もこうした教育をしていくと思うので、本校はさらにブラッシュアップして特色を出していきたい。			
・昨日、サッカーの選手権大会の県大会があったが、惜しくも負けてしまった。その一方で、先週本校2期生の藤井選手が東北楽天ゴールデンイーグルスにドラフト3位で指名された。また、本年度薬剤師として就職した生徒や来年度市役所に内定した卒業生もいる。本校のコンセプトのドリカムハイスクールということにつながっていると思う。			
授業参観 前半：11、12HRディベート			
後半：23HR人文探究α、32HR社会探究β、36英語理解)			

授業に関する質疑応答

(質問・意見等)	・ディベートでは、高校1年生からこういったことをやっていることに驚いた。授業の雰囲気非常に良く、他人任せの生徒がほとんどいなかった。生徒が真剣に取り組んでいたところが好印象だった。もう1つ参観した授業が国家予算のプロジェクトだったが、プロジェクター、パソコン等を使いこなしていた。(ICTは)予算等が大変かとは思いますが、充実させてほしい。
(質問・意見等)	・生徒が楽しそうにやっていた。先生方が押し付けず、自由にやっという雰囲気を作っていることを改めて感じた。生徒が先生の目を見て話を聞いているのも印象的だった。また、私たちに向かって挨拶してくれたのも嬉しかった。
(質問・意見等)	・ディベートは聞く力、伝える力がないとどうにもならないことなので、この取り組みはすごく大事な力が育つと実感した。どの先生もディベートを指導できる先生ばかりではないと思うが、勉強しているのか。
(回答)	・週1時間、打ち合わせの時間がある。初めて取り組む先生も多いので、毎年更新したり授業体験も入れたりしながら打ち合わせをしている。
(質問・意見等)	・良好な人間関係を築けていると感じた。話すこと、聞くこと力をつけることは非常に良い授業だと思った。細かく時間が区切られていた中で自分の思いを伝えるのは大変なことだが、それもできていた。1つ1つの積み重ねが今日の授業に表れていたと思う。
(質問・意見等)	・ディベートを初めて見たが、楽しく見る事ができた。今日はミニディベートで4グループに分かれていたが、本来はもっと大きな形で行うのか。また、この形でのディベートは何回目か。
(回答)	・本ディベートは全クラスで行う。3人か4人で1チームは変わらないが、参観者が増える。本年度は今日が初のディベートで、調べ学習も1時間のみ実施した。
(質問・意見等)	・気になるのは話し方。姿勢を正して、人の目を見て発言する。こうした基本を実体験として習得できる。ぜひ継続していただきたい。
(質問・意見等)	・私の娘がビジネス探究の3年生にいて、ディベートの話を入学した時に聞いていた。初めて参観して、皆がしっかり発表していると感じた。あと、身近な内容なので、理由が面白く、見ていて楽しかった。
(質問・意見等)	・(2年人文探究aの授業で)いろいろな班の朗読劇を見せてもらった。長い話を4～7分間で朗読するために読み込んでいたのが印象に残った。
(質問・意見等)	・ディベートの授業は感動した。自分たちの時代と違うと感じた。1年生の段階でこれをやり、2、3年次は別の何か考える活動を行う。学校の工夫が出ている授業であり、こういったことは社会に出てから非常に役に立つと思う。ディベート

<p>(回答)</p>	<p>の問題を考えるのは先生か。</p> <p>・生徒からアンケートを取った。その中に今回の議題があり、身近なテーマとして今回のディベートで扱った。今後は日本全体を考える議題に取り組んでいく。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・先生の説明がはっきりしていたから、生徒は分かりやすかったと思う。生徒は初めてとは思えないほど反応がよかった。今回のテーマの「定期テスト」をどのように捉えているのかが少し曖昧だった。視点や立場をはっきりさせると、もっと良いディベートになったと思う。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・市立高校は先進的な試みをやっていると思う。警察学校でもディベートを行っていたが、とにかく人の話を聞く、それをアウトカムしなければいけない。今日は初めてということだが、もっと少人数で役割を明確にすれば、より自分ごとになると思う。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・ディベーターだけではなく、ジャッジする人も集中していた。初めてでここまでできることに驚いている。内容が変わったり、資料の使い方を覚えたりしたら、さらに意味のある討論になる。今後は楽しみだと思った。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・3年社会探究の授業はパソコンを使った落ち着いたのある授業で、魅力を感じた。小中学校でもタブレットを使って授業をする時代になっているが、パソコンを使う子、使わない子が分かれなように工夫しなければいけないと感じた。今の時代の各学校が目指すところを先駆けていると感じた。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・一部の人だけではなく、多数の生徒が参加していたディベートだった。英語の授業も視覚的に興味を引き付ける教材を工夫して作っており、先生の尽力がにじみ出していた。ただ1点、スポーツ探究科の進路状況では約半数が4年制大学に進学しているので、もう少し進学を意識した授業を行うことも必要だと思う。</p>

○学校からの報告

◇中学生一日体験について

- ・10月3日の土曜日に実施し、中学生が259名参加してくれた。(例年だと700名以上が参加している。)午前中は授業見学、午後は探究学習発表会を行った。午後の自分スピーチは、例年は3年生の代表者が全校生徒を前に発表しているが、今年の1、2年生はオンラインで教室から参観する形となった。
- ・今後も中学生が本校を知ってもらう機会として、学校見学会や9校合同説明会を活用したい。今回の申し込みは 구글フォームを使用したが、スムーズに実施できた。
- ・その日に行った中学生へのアンケートの「本校に期待すること」は、楽しい高校生活が10.2%、部活動が70.3%、授業が50.5%という結果(複数回答可)だった。職員の反省では、時間を持って余す中学生が多かったので、引き込む仕掛けがほしかったとの声が聞かれた。

- ・10月24日に行った体験見学説明会には中学生だけでなく、保護者も一緒に来て授業体験ができる形で行い、好評だった。

◇探究研修について

- ・本年度の探究研修は海外研修を中止とし、その代替として2月に総合探究科が北海道、ビジネス探究科が長崎、スポーツ探究科が石垣島での研修を予定している。今後さらに検討をしていく。

◇教育活動について

- ・文化祭は開催できなかったが、各文化部が発表したものを映像にして、それを生徒が視聴する形での発表会を開催した。これは県教委にも取り上げられた。
- ・オンラインを活用し、社会とつながる授業を展開してきた。ドイツのサッカークラブに関する授業や市役所プラン、商品開発やマーケティングをオンライン授業で行い、対面ではあるがSPACとの協働も今年初めて行った。生徒会も学校PR動画（HPに掲載）を作ってくれた。

◇学校改革に係る有識者会議について

- ・平成23年4月の開校から10年間の取り組みを外部から評価、検証してもらうことを目的に有識者会議を4回実施した。
- ・第1回会議は学校改革実施計画の個別計画4～6を扱い、地域連携とキャリア教育、探究学習について協議を行った。探究学習については、今後市役所プランだけでなく各教科に広げてほしいとの指摘をいただいた。
- ・第2回会議は個別計画7～9を扱い、3学科について協議した。総合探究科は進学実績を重視してほしいという意見、ビジネス探究科は他の商業科と相違する「市立高校の独自性」が大切との指摘をいただいた。
- ・第3回会議では「定着した事業と今後の取り組み」について協議を行った。今後、小中学校でGIGAスクール構想が急速に進められ、一人一台のタブレットを経験した生徒が進学してくるので、市立高校ではよりICT教育を進めていかなければいけないとの指摘をいただいた。また、探究学習の取り組みとして「効果の見える化が必要」との指摘もいただいた。
- ・第4回会議では「富士市立高等学校2021—2030の方向性」を示すため、13項目のステートメントを提示した。これは確定ではなく、今後も協議を進めていく。また、今後対応すべき課題として、ICT環境の整備やスクールポリシーの策定にも取り組んでいきたい。

◇探究学習について

- ・究タイムは今年度、コロナウイルスの対応が難しいところがあった。特に「市役所プラン」の実施が難しかったが、担当する教員がこの学習に前向きに取り組んでくれたおかげで良い活動ができた。7月30日に1、2年生の発表会、9月30日には静岡大学の先生や市役所の方に協力していただき、発表会を開催できた。3年生の自分スピーチも実施できてよかった。
- ・「探究学習の見える化」のために、河合塾の「学びみらいPASS」を1年生で実施をした。結果

から分かる生徒の傾向は、チームで協力する力は全国平均をやや上回り、他は平均もしくはやや下回っている。問題分析、課題解決の点も本校の生徒は弱いという結果だったので、これを1～2年かけて育成できるかが大事になってくる。

◇3年生の進路の現状について

- ・1点修正ですが、就職の小計が50となっていますが38に訂正してください。
- ・今年度大学入試が大きく変わり、出願期間も変わったため、ほとんどの生徒がまだ結果が出ていない状況である。就職試験は10月16日から試験が始まり、現在31名中6名が不採用となっている。例年よりも多いが、近隣の学校も就職が厳しいという報告を受けている。専門学校は、コロナの影響もあってか、早くに募集を締め切っているところが出てきている。
- ・大学入試も変わり、コロナの関係で勉強も遅れているというところで、4年制大学を中心に推薦を使って進学する生徒が増えるのではないかと。県内志向が強まっているという状況を踏まえると厳しい状況が続くと思うが、何とか生徒の希望が通るように指導していきたい。

◇部活動の結果について

- ・今年度はコロナウイルスの関係で大会が実施されていない。本校でも6月1日から部活動が再開され、6月下旬から他校（県内）との練習試合ができるようになった。1学期は遠征・合宿は禁止、2学期はふじのくにシステムに則った形で実施している状況。新人戦については、東海大会は実施していない中、柔道部、剣道部が県大会出場を決めている。

◇今後の行事予定について

- ・今後は当初の通り、行事を実施していく予定。12月に芸術鑑賞会が予定されていたが、コロナの関係で中止となった。終業式や始業式は全て放送による実施予定となっている。

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)	・学校の改革実施計画の中で、施設の充実は非常に大切だとあるが、ICT等は充実しているため、拡充はしないのか。
(回答)	・パソコン専用ルームが4部屋、PIRルームにもパソコンが用意されているため、授業でパソコンを使用する上での不自由はないと思う。ただ、Wi-fiに対応していない生徒が数名いるので、今後オンライン授業の必要性が出てきた場合に貸し出すための整備も必要かと考えている。
(質問・意見等)	・探究学習はこの学校のアピールポイントで、一定の成果が出ていると思うが、近年進学状況が停滞している感じもあるので、さらにもう一步の対策が求められている時期ではないか。ドリカムハイスクールの重要な柱として、受験対策というものに力を入れてほしい。
(質問・意見等)	・個別計画4にある「地域から愛される、魅力ある学校」の「地域」とは、何を指すのか。富士市全体が基本だと思うが、吉永地区との連携はどう考えているか。

<p>(回答)</p> <p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・吉永地区については、地区の文化祭や協議会等の行事に生徒が関わっていくのはもちろん、市役所プランや人工芝で遊ぼう等の活動で、吉永地区に富士市立高校があるというのを喜んでもらえるようにしていきたい。 ・個別指導が市立高校の売りとのことで、将来就きたいと思う職業人へのインタビューの機会を提案したい。そうすることで、生徒の夢の実現に近づくと思う。AO入試対策での利用も多く、進学力も上がると実感しているので、取り入れていただけたらと思う。
<p>次回日程について</p>	
<p>閉会</p>	